



ウィルあいち交流ネットセミナー

「自分らしく生きてきた人が世の中を明るくする」

ウィルあいち交流ネット参加グループ

平成24年1月21日(土)、セミナールーム1, 2において、ウィルあいち交流ネットセミナー「自分らしく生きてきた人が世の中を明るくする」を開催しました。

当日は小雨が降る寒い日でしたが、会場は112名の参加があり、皆さん熱心に聞いてくださいました。改めまして感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、講師は赤石千衣子氏。非婚のシングルマザーであり、現在は、「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」で母子家庭の相談や政策提言、東日本大震災の被災シングルマザーの支援に取り組んでいる女性です。セミナーでは、まず自己紹介から始まり、東日本大震災で被災した状況をスライドで見せていただいた後、シングルマザーの状況を事例を通じて報告していただきました。



自己紹介を聞いて、まさしくテーマに合った生き方をされている女性だと再確認しました。ご自身の家族を通してこだわらない生き方を選択した赤石さんは、未婚のシングルマザーとして生活保護を受けたこともあると告白しています。隠さずにオープンにするほうが楽という生き方を選び、その後もシングルマザーの会で活動することで、現在では内閣府の社会保障検討会議に参加され政策提言をしています。「自分らしく生きてきた赤石さんが世の中を明るくしている」のです。

被災地のスライドからは、避難所での運営に男女共同参画の視点あれば、誰かが我慢したり、女性という立場で受けるDVや性的嫌がらせなどの問題がなくなるのではと提言します。シングルマザーの状況報告からは、生活するお金の保障はもちろん、子どもが次の世代を担うために子どもの力を引き出すためのお金を保障しなくては行けないと、制度や法律を変えていく必要があると訴えます。

水前寺清子が歌ってヒットした♪ぼろおはあ〜着いててもお〜心おはああ、に・し・きい(っえい)♪のフレーズが浮かんできました。私が育った1960年代は、意外とこういう心根を持った大人たちがいたように思います。

贅沢とは無縁、外で遊んでいればご機嫌だった私。子どもに高望みしなかったお気楽な両親。身の丈の生活に不満もなく、それが当たり前だった時代。時が過ぎ、今、私が親になり、子どもを育ててひしひしと感ずることは、やっぱり、いい高校へ、大学へ、そうでないと就職さえできない。いえ、そうであっても、世の中(社会)に取り残されてしまうのではないかという危機感があります。しかし、そうであっても、「自分が自分らしく生きている」と思えるのは、今の自分の生き方を自分自身が良し(OK)として受け入れられているからだ。

その上で、赤石さんのお話するシングルマザーや貧困家庭においては、制度や法律が整備され、人が人間らしく生活できる仕事と賃金が保障され、かつ、安心して暮らせる環境があってこそ、初めて自分らしさが持てるのではないかと思うのです。「国は、我慢する国民に甘えて、やるべきことをやっていない!」そう思うのは私だけでしょうか。

- *さわらび会
- *メンズリブ名古屋
- *ア・コール
- *女性学'98の会
- *IPA
- *メディアの会かたつむり
- *ウィル10
- *A・B・C・Net
- *C・C・C
- *グループ・キートス
- *クラリネット'99
- *2000女性学の会
- *ウィル2000
- *I. W. L
- *ウィル・ミニ・ボックス
- *めだかつこ
- *ウィルLove
- *ウィルDo2002
- *平成いちご会
- *きらら2005
- *サーティネット'05
- *ベリーズ18
- *Step07
- *トライアングル'08
- *まちづくりファシリテーター勉強会
- *Fem.'09
- *Amelie'10

ウィルあいち交流ネットとは…

ウィルあいちセミナー等の受講生による自主活動グループで組織された団体です。

ウィルあいち交流ネットセミナー

「自分らしく生きてきた人が世の中を明るくする」アンケート結果

回収率

54% (60 / 112)

年齢

居住地

女性	60人
男性	0人
不明	0人

20代	0人
30代	2人
40代	6人
50代	14人
60代	29人
70代	9人
不明	0人

名古屋	15人
市外	43人
県外	1人

講演の感想(抜粋)

- ・シングルマザーの貧困の連鎖について、先日友人と話したばかりなので、具体的な対策等、どうなのかなと思いました。災害がおきた時、何らかの活動ができるよう普段から地域づくり、グループづくりなどもっとしっかり考えていきたい。
- ・時間が短いです。これから深いところというところで終わってしまいました。震災とシングルマザーと貧困がもう少し結びつくとよかった。
- ・震災後の女性の様子が少しわかり、何が足りないか、何をしていかなければならないかを考えてみたい。
- ・貧困の提議を教えてほしかった。シングルマザー＝貧困ではないから。
- ・わかりやすかったが、もっと核心にせまる話を聞きたかった。
- ・赤石さんのあたたかい話しぶりに引き込まれました。女性の力の大切さを感じました。仕事に限らず、地域のことなど、がんばってほしいと思いました。震災はとても辛く悲しいことでしたが、私たち日本人の生き方を考えるきっかけと今後の日本を変えていかなければ・・・と教えてくれたと思います。
- ・被災地での弱者の実情が聞けてよかったです。世の中を変えていくために、もっと女性が声を大きく行動を起こすことが必要だと思いました。
- ・災害地の人々のご苦労は身につまされます。何か応援をしたいのですが、気持ちを思うと、なかなか支援もできなくて残念ですが、支援を受ける方達も、素直に受けられるとうれしいのですが、こちらの気持ちが通じないことがとても残念に思います。明るい講演でよかったです。
- ・パワフルなお話が気持ちよかったです。小さな力でも役立てる場があれば役立ててほしいと思った。
- ・がんばっている話、積極的に前向きで面白かった。男女共同参画の話も地域によって、まだまだと感じます。日本は・・・難しい。個々で違う。よくわかります。

[編集後記]

多くの方々にご参加いただき、本当にありがとうございました。
これからもガンバッテ交流ネットを盛り上げていきましょう。
まだまだ寒い日が続きます。
ご自愛ください。

S . I

編集発行：ウィルあいち交流ネット

編集協力：(財)あいち男女共同参画財団

企画協働課協働担当

電 話 052-962-2512 F A X 052-962-2477